

安全にご使用頂くために



ベビーゲートは生後24ヶ月以内の乳幼児に使用する「家庭用の乳幼児用移動防止柵」として開発したものです。赤ちゃんのために下記の注意事項を必ずお読み頂き、正しくご使用下さい。

- 「取付け方法」の寸法を参考にして、ご使用場所に合わせて取付けて下さい。
- 本製品の取付けに際して、手・指など挟まないよう十分ご注意ください。
- 本製品の取付け・取外しは保護者の方が行って下さい。
- 本製品が下記の通り、安全に、確実に取付けられているかを必ずご確認ください。
 - ①左右4カ所の調節ボルトの先ゴム部が、壁や柱などの隙間なく、またはみ出すことなくしっかりと接しているかを確認下さい。
 - ②本製品本体下面が床に接しているかを確認して下さい。
 - ③最後に扉上部を持って、前後左右に揺すって、本体が外れないかを確認下さい。
- 階段の降り口（階上側）、縁側の降り口やガラス戸の近くなど、本製品が外れた場合危険と思われる場所には取付けないで下さい。
- 取付ける場所の強度を確認して下さい。
※壁面が弱い場合はご使用いただけません。また、壁紙などがはがれたり壁面がたわんだりへこんだりする場合がありますのでご注意ください。
- ストーブなど暖房機器の近く、雨ざらしになるような場所には取付けないで下さい。
- 本製品のそばに踏み台になるようなものを置かないで下さい。
- 本製品にぶら下がったり、寄りかかったり、よじ登ったりしないで下さい。またさせないで下さい。
- 本製品の扉の格子部・支柱と扉の隙間・本体と壁面の隙間にお子さまが手や足を突っ込まないようにご注意ください。
- 保護者の方は、本製品を使用しても、お子さまの動作状況には注意して下さい。
- ダブルロックは必ずかけて下さい。また、ロックを掛ける時は扉が閉まっているかを必ず確認して下さい。
- 本製品の取付けにより、壁や壁紙が破損する場合があります。そのような危険がある場合は、取付けを中止して下さい。
- 本製品を開閉する時は、近くにお子さまがいないことを確認して行って下さい。お子さまが手や指を挟む危険があります。
- 本製品は自動で扉が閉まるようになっておりますが、出入りした後は扉が確実に閉まっているかを確認しダブルロックを掛けて下さい。
- 長時間使用による部品等の劣化・破損などのおそれがあります。その場合はただちに使用を中止して下さい。
- 使用状況により調節ボルトがゆるんでくる場合があります。定期的に本製品がしっかりと固定されているかを確認し、必要に応じて調節ボルトを締め直して下さい。
- 本製品を改造してのご使用や部品の代用は、破損や事故の原因となりますのでおやめ下さい。

製造物責任保険について

当社は「Neb:o 軽量ベビーゲート〈Keep〉」を安心してお使い頂けるように、品質については細心の配慮をいたしております。この取扱説明書に従って正しく取り付け、正しい方法でお使いになったにもかかわらず、製品の欠陥により、身体もしくは財産に損害をおかけした場合は、その損害を補償するために、保険会社と「生産物賠償責任保険」の契約を結んでおります。万一事故が発生した場合は、直ちに当社までご連絡下さい。※この制度は、製品の品質について保証するものではありません。

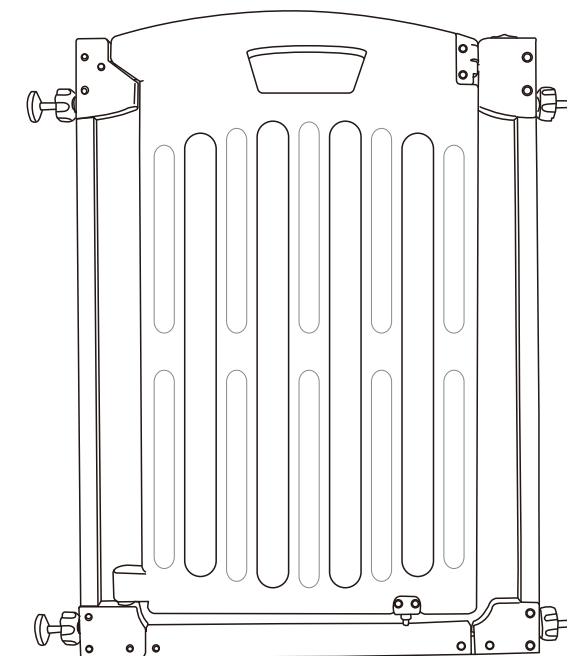
取扱説明書

Neb:o 軽量ベビーゲート

開いて止まって、自然に閉まる!

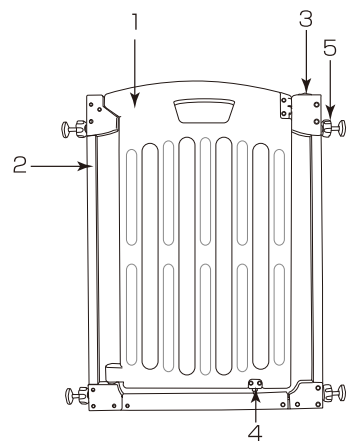
Keep キープ

取り付け幅：約 67 ~ 75.5cm



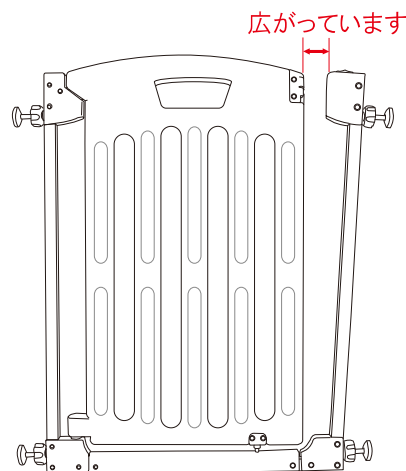
このたびは「Neb:o 軽量ベビーゲート〈Keep〉」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。この製品を安全に正しく使用して頂くために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、十分に理解して設置をして下さい。お読みになったあとも、手元におき大切に保管して下さい。

部品の名称



1. 本体パネル
2. 本体支柱
3. ダブルロック
4. ベースストッパー
5. 調節ボルト

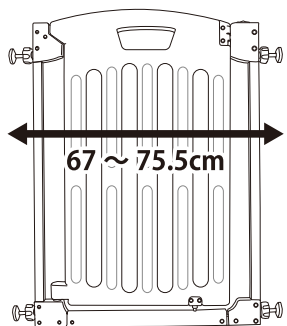
設置前の本体は、本体支柱右側上部が少し外側に開いた状態になっておりますが不良ではございません。



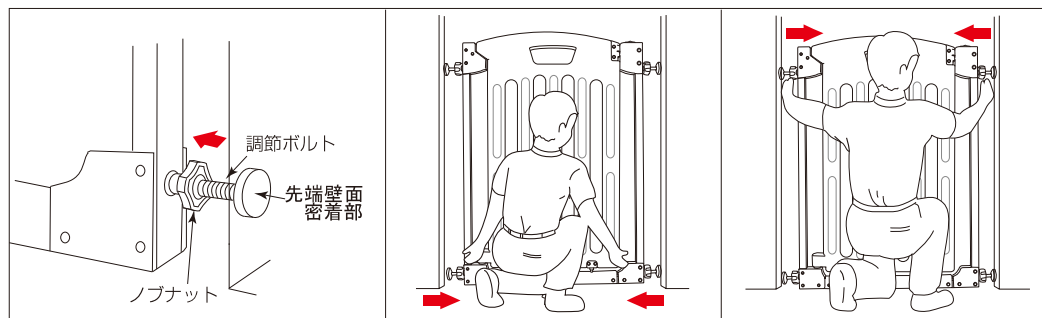
※取り付けの際に、しっかりと固定できるように上部ロック部分が少し開いた仕様になっております。取扱説明書の通り、正しい位置に固定できると締まっていきます。お取り付け時に、上部が少し空いていることで作業しづらい場合は、ドアをフレーム側に寄せながら行うと作業がしやすくなります。

取り付け位置の確認

本製品の取り付け可能幅は 67～75.5cm です。まずは、取り付け予定位置の幅をご確認下さい。



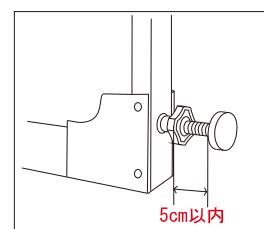
取り付け手順



①取り付ける場所にゲートをセットして下側の調節ボルトを締め付けた後、上側を締め付けて下さい。調節ボルトのノブナットを回し、調節ボルトを伸ばすことにより、左右につっぱり、ゲートを固定します。ロック部の扉部と支柱部のすき間を、2 mm 以内に調節して下さい。すき間が広すぎると、ロックがかからなくなります。

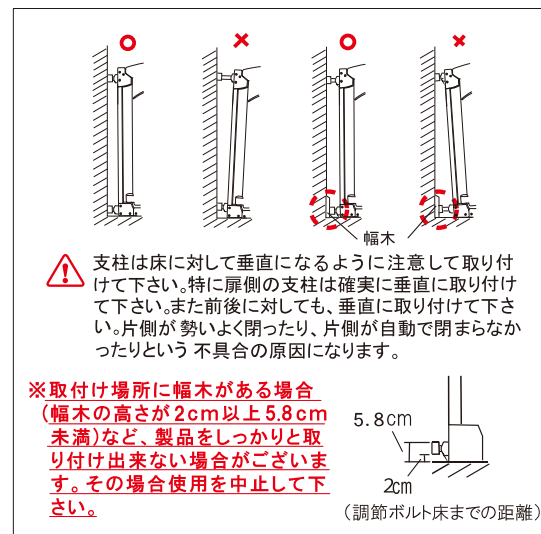
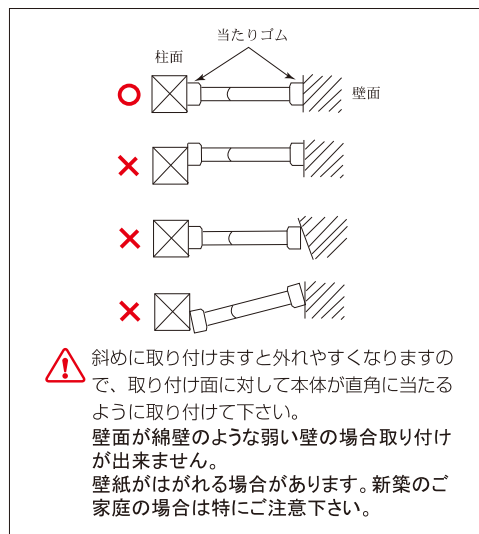
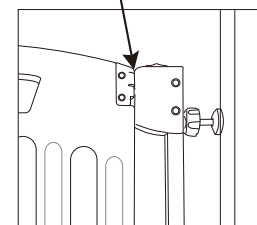
②ゲートを前後に揺すってみてグラツキがないかを確認して下さい。

注：本体にはボルト受けのナットはありません。調節ボルトは、本体穴に差し込むだけです。後は、ノブナットを回転すと、先端壁面密着部が外側にせり出てきます。

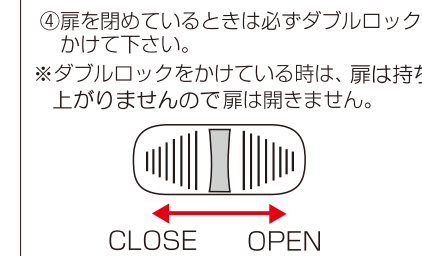
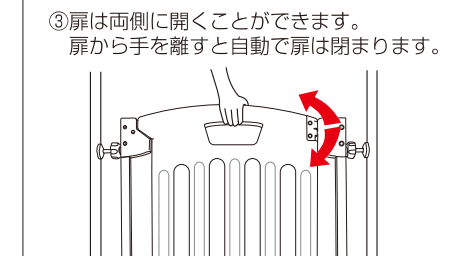
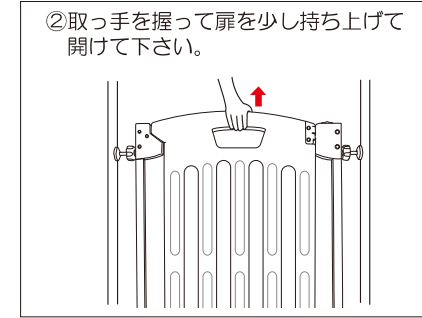
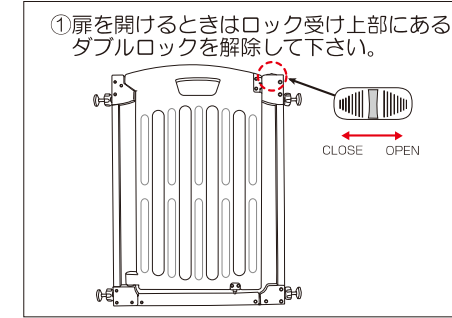


注意 取り付けるとき調節ボルトの長さが5cm以内になるように取り付けて下さい。

注意 本体パネルと、パネルジョイントの間のすき間は、1～2mm以内になるように取り付けて下さい。



扉の開き方・ダブルロック

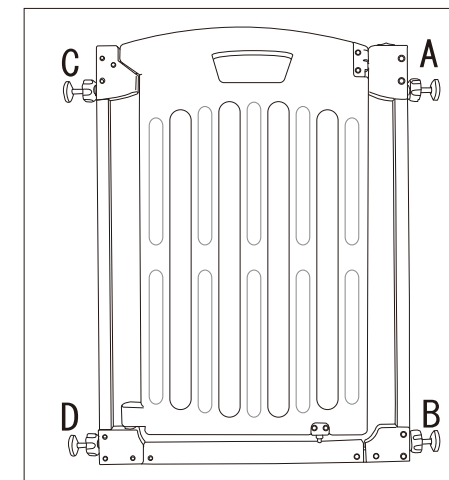


注意 扉は自動で閉まるように設計してありますが、取付場所によって、自動で閉まらない場合があります。出入りする場合は必ず、扉が完全に閉まったことを確認して下さい。

扉がオートクローズしにくい場合

本製品を取付けた後扉が戻らない場合は、下記を参考にして微調整を行って下さい。

扉を地面に対して垂直に設置することが必要です。



図のA・Bのボルトの長さを長めに、C・Dのボルトの長さを短めに調整することにより、地面に対して垂直に取付けられるようになります。

※長く使っていると扉が自動では閉まらなくなる場合があります。その場合は、再度扉の垂直調整をして頂くと共に、扉の根元にホームセンターなどで市販されている潤滑油(シリコン)等をさしていただければ、スムーズに開閉するようになります。

※上図調整により、扉が地面に対して垂直の状態を保って下さい。扉が閉まる時に一度行き過ぎてから戻ってくる場合があります。これは閉まる時に大きな音がしないように工夫したもので、不具合ではありませんのでご理解下さい。

※本説明書に記載しているイラストは、操作方法や仕組み等をわかりやすく説明するために、実物と異なる場合があります。※開発・改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。